

欄に記入してください

温室効果ガス削減実施状況報告書

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

アヲハタ株式会社ジャム工場

(2) 事業所の所在地

広島県竹原市忠海中町一丁目2番43号

(3) 業種

0931 野菜缶詰・果実缶詰・農産物保存食料品製造業(野菜漬物を除く)

2 計画の期間

本計画の期間は、2023年度を基準年度とし、2024年度の1年間とする。

3 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標の達成状況

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量（t-CO₂）、削減率（％）

温室効果 ガスの種類	基準年度 排出量(a)	目標年度 上段：見込量 (b) 下段：削減率 (c)	計画期間の実績 (上段：実排出量(d)、下段：削減量の対基準年度比 (e))				
	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和6年度 (2024)	令和 年度 ()	令和 年度 ()	令和 年度 ()	令和 年度 ()
エネルギー 起源CO ₂	4,138	4,097 1.0	4,231 (2.3)	100.0	100.0	100.0	100.0
非エネルギー 起源CO ₂		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
メタン		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
一酸化二窒素		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他 温室効果ガス		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
温室効果ガス 実排出量総計	4,138	4,097 1.0	4,231 (2.3)	100.0	100.0	100.0	100.0
温室効果ガス みなし排出量							
実績に対する 自己評価	生産数量の増加に伴い、排出量が増加している。						

※ 削減率(c) = ((a)-(b))/(a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a)-(d))/(a) × 100

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標： 生産量(t)

温室効果 ガスの種類	基準年度 原単位 (a)	目標年度 上段：原単位 (b) 下段：削減率 (c)	計画期間の実績 (上段：原単位実績(d)、下段：削減量の対基準年度比 (e))				
	平成5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和6年度 (2024)	令和 年度 ()	令和 年度 ()	令和 年度 ()	令和 年度 ()
エネルギー 起源CO ₂	0.380	0.376 1.0	0.359 5.5	100.0	100.0	100.0	100.0
非エネルギー 起源CO ₂		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
メタン		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
一酸化二窒素		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他 温室効果ガス		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
温室効果ガス 排出量総計	0.380	0.376 1.0	0.359 5.5	0.0	0.0	0.0	0.0
エネルギー消費 原単位 (原油換算kl)	0.162	0.160 1.0	0.155 4.3	100.0	100.0	100.0	100.0
実績に対する 自己評価	生産数量の増加に伴いエネルギー効率の良い製造ができ、原単位が減少している。						

※ 削減率(c) = ((a)-(b))/(a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a)-(d))/(a) × 100

4 温室効果ガスの排出の抑制に係る具体的な取組の実施状況

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組

	項 目	削減量等	具体的な取組
1	電気使用量の削減	電気使用量原単位 1 %削減	エアー漏れの早期発見、修繕を行い空気圧縮機の使用電力を抑えられるように努めました。
2	燃料使用量の削減	LPG使用量原単位 1 %削減	省エネパトロールにより、蒸気漏れの早期発見、修繕を行います。月1で行われる省エネワーキンググループを活用し、情報共有を行いました。
3			
4			

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組（環境価値の活用等）

	種 類	合 計 量
1		
2		
3		

○ その他の取組

	項 目	削減量等	具体的な取組
1			
2			
3			

※ 環境に配慮した実践的な取組などをされていれば記載してください。